

災害時における避難所施設としての使用に関する（協定・覚書・確認書）
（例）

〇〇〇（町(内)会、自主防災組織名）と〇〇〇（施設所有者名）は、災害時における施設の使用等に関し、次のとおり（協定を締結する、覚書を交わす、確認する）

（趣旨）

第1条 この（協定・覚書・確認書）は、災害発生時又は発生するおそれがある場合において、一時的に（施設所有者名）の所有する施設を使用することについて必要な事項を定めるものとする。

（避難者の受け入れ等）

第2条 〇〇〇（施設所有者）は災害発生時又は発生するおそれがある場合において、（施設所有者名）の所有する施設を、当該施設の立地する町(内)会における一時的な避難所として使用することを受け入れるものとする。

2 使用する施設は以下のとおりとする。

施設名称	
施設所在地	
施設使用範囲	

3 前項の使用施設範囲以外でも、地域の被害状況に応じて、双方協議の上、使用の対象とすることができる。

（避難所の管理運営）

第3条 避難所の管理運営は、〇〇〇（町(内)会、自主防災組織名）と〇〇〇（施設所有者名）が相互に協力して行うものとする。

（有効期間）

第4条 この（協定・覚書・確認書）は、（締結した・取り交わした）日から効力を有するものとし、〇〇〇（町(内)会、自主防災組織名）又は〇〇〇（施設所有者名）から解除の申し出がない限りその効力を有するものとする。

（協議）

第5条 この（協定・覚書・確認書）に定めがない事項については、〇〇〇（町(内)会、自主防災組織名）及び〇〇〇（施設所有者名）双方が協議して定めるものとする。

上記（協定・覚書・確認）の証として、この（協定・覚書・確認書）を2通作成し、双方記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

住 所

〇〇〇（町(内)会、自主防災組織名）

代表者名 印

住 所

〇〇〇（施設所有者名）

代表者名 印

その他双方で協議し、別に定めておいた方がよい項目

- 経費負担に関すること（例えば、避難者が施設を破損した場合の経費負担など）
- 開設基準に関すること（例えば、震度 5 強の地震で開設、町(内)会等からの要請があれば開設するなど）
- 連絡体制に関すること（相互の連絡体制を記載した連絡網の作成など）

※上記事項については、協定・覚書・確認書の中に記載しても差し支えありません。